



鶴田ダム堤内を見学しました



かっこいいのができました（ソーラーカー作り）



森のアスレチックで楽しそうに遊んでいました



保護者も夢中になってつるで籠を作っていました

参加者のひとこと！



川内市 佐藤優也くん（小学6年生）

ソーラーカー作りや森林教室が楽しかったです。

来年は、中学生になりますが、また機会があれば参加したいです。今日は、いろいろ分かりやすく教えていただいてありがとうございました。

鶴田町 増田一己さん（保護者）

今日は酷暑の中、ありがとうございました。私たちの子どもや孫たちが生きた勉強ができました。今日の体験で自然を愛する子どもたちになると思います。夏休みのいい思い出になったと思います。



森と湖に親しむ集い

約2000人が自然に親しむ

森と湖に親しむ集いが、7月28日（水）鶴田ダム周辺で開催され、薩摩郡内をはじめ、川内市、大口市、宮崎県えびの市などから約2000人の親子連れが参加し、森林体験やダムの見学など夏休みの1日を楽しみました。

森と湖に親しむ集いは、森林やダム等の重要性について理解を深めてもらうことを目的に、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」と定めてあることにちなんで開催されているもので、今回で16回目となります。

開会式後、それぞれのグループに分かれ、森林教室では、森の役割についてなど分かりやすく紙芝居を使って説明がありました。その後、木の名前を当てるクイズが10問あり、最高9問正解した子どもが出るなど、親子でクイズに参加しました。

ウッドクラフトでは、今回は本棚作りを行いました。それぞれ5人6人のグループに分かれて指導を受けながら作りました。はじめは、ぎこちない手つきで釘を打ったり、のこ

ぎりを引いたりしていましたが、係の指導を受け、みんな上手に自分だけの本棚を作り上げていました。また、保護者はつるで籠を編み、子供以上に夢中になっていました。

ダム内部見学では、ダムの堤内の見学が行われ、ダムの内部を見学した子供たちは「ひんやりして気持ちいい」「クーラーの中みたい」と堤内の涼しさに驚いていました。

ダム管理所では、ソーラーカーを作成し、子供たちは四苦八苦しながら作り上げ、太陽の光を浴びて走る自作のソーラーカーに大変喜んでいました。

暑い中での開催となりましたが、子供たちもそれぞれ楽しい夏休みの思い出になったことでしょう。